

ホタテガイ採苗速報

産卵促進のため、貝を深く沈めてください

平成23年3月18日～24日に湾内6地点で養殖2年貝および半成貝（平成22年産貝）の母貝調査を、3月18日～23日に東湾の3地点で地まき貝の母貝調査を、平成23年3月28日に湾内8定点でホタテガイ等のラーバ予備調査をそれぞれ行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ母貝調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均で24.8、東湾平均では28.4、全湾平均では26.6と、前回（西湾23.3、東湾26.3、全湾25.0）よりもやや増加しました（図1～3）。各地の測定結果は表1のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は、東湾平均で19.7と、前回（19.7）と同じ状況となっています（図4）。各地の測定結果は表2のとおりです。

半成貝（平成22年産貝）の生殖巣指数は、西湾平均で10.0、東湾平均では12.1、全湾平均で11.1となっています。また、久栗坂実験漁場では12.4と、平年（10.5）よりも高い状況となっています（図5）。各地の測定結果は表3のとおりです。

2 ホタテガイ等ラーバ予備調査結果

3月28日のホタテガイラーバ出現数は、全湾平均で524個/トンとなっています。

ムラサキガイのラーバ出現数の全湾平均値は、229個/トン、キヌマトイガイでは2,464個/トンと、いずれも昨年同期（3月29日）調査時（それぞれ34個/トン、230個/トン）よりも多い値でした。

3 海況

3月21日～25日の陸奥湾の水温は平館ブイで7.2～7.9℃、青森ブイで4.2～4.3℃、東湾ブイで3.1～3.5℃でした。

その後、3月26日から青森ブイの底層で6℃、東湾ブイの底層で4℃程度の高温水がみられ、3月29日に湾内の3定点で行った海洋観測では、底層で表層および中層よりも水温が高い状況（5～7℃程度）が確認されました。

4 今後の見込み

産卵は全湾的に停滞気味です。このまま産卵が遅れると、採苗に影響を及ぼすことが考えられます。表層から中層ではここしばらくは産卵の刺激となる急激な水温上昇が見込まれませんが、底層で水温が高い状況にあることから、**産卵を誘発させるために、できる限り下層に貝を沈めるようにしてください。**産卵の状況および採苗器投入時期については今後の情報を参考にしてください。

また、今年は母貝数が例年よりも少ないため、ラーバの出現数も少ないことが予想されますので、効率よく稚貝を確保するために採苗器を例年よりも多めに準備してください。

5 お知らせ

来週4月4日から全湾一斉のラーバ調査が始まりますので、ご協力をお願いします。

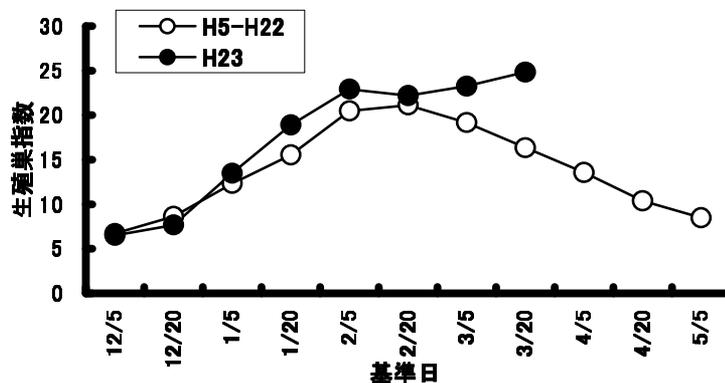


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(西湾平均)

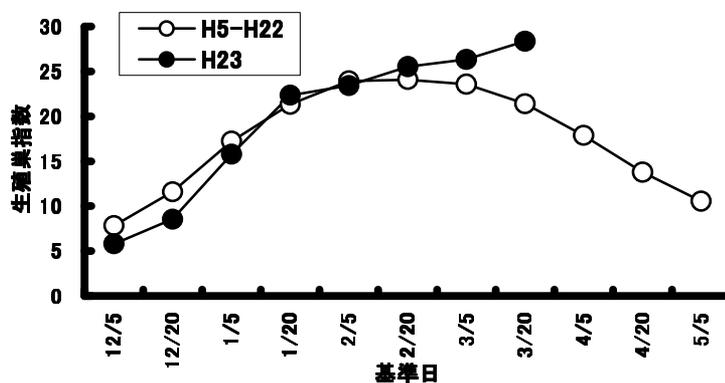


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(東湾平均)

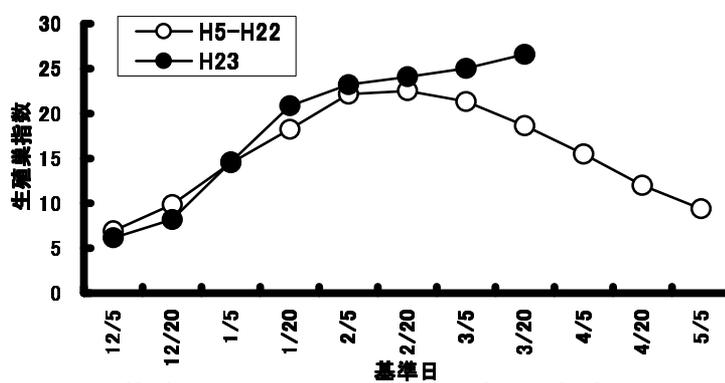


図3 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(全湾平均)

発行元：地方独立行政法人
青森県産業技術センター 水産総合研究所
住所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156
ホームページURL：http://www.aomori-itc.or.jp/
携帯電話URL：http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2224



広がる海の知識！
身につける新たな技術！ 漁業後継者育成研修 『賓陽塾』
塾生募集中！！ 詳しくは水産総合研究所 ほたて貝部まで